

日工販ニュースVol.20 No.6



もくじ

巻頭言「リレーに想う」	日工販理事 宮脇隆一郎	2
話題の技術「リニアモータ駆動 高速形彫り放電加工機 AGシリーズ」 (株)ソディック 上ノ町哲也		4
SE教育「平成20年度SE講座・更新研修講師打ち合わせ会」合格者」		8
生活医学「腰痛」		10
私の読書評「記憶がなくなるまで飲んでも、なぜ家にたどり着けるのか？」 岡谷機販(株) 谷 英夫		11
工作機械と私	(株)立花エレクトック 平井 嘉久	12
リレー随筆「出張にて」	NTTファイナンス(株) 鬼頭 秀和	13
統計資料「FA流通動態調査1」 「工作機械業種別受注額」 「マシニングセンタ・NC旋盤動向」 「工作機械受注高月別推移」		14
甘口辛口「娯楽のなかに見た操縦術」	三立興産(株) 宇佐美 豊	18
議事録「政策」定例理事会」調査広報」		19
消息・行事		22
会員会社		24

SE資格者にご回覧下さるようお願いいたします。

“ リレー に 想 う ”



日工販理事


宮 脇 隆 一 郎

(宮脇機械プラント㈱・取締役社長)

2008年北京オリンピックは開会式まであと100日を切りました。オリンピアの丘で採火された聖火は、五大大陸のオリンピックに由緒のある地をリレーされました。中国に届くまでにはいろいろなトラブルがあったようですが、今は中国の各都市を駆け巡っています。(寄稿後、四川省大地震が発生してどうなるのか憂慮しております。)

リレーといえばここ最近、当社とお付き合いのある優良中小企業数社のお客さまに「事業継承」の事例が見られました。親から子供に相続する一般的なケースから、優秀な内部・外部の人材に禅譲するケース、また三代目がクールに自社を他社に売り渡すM&Aまでのいろいろなケースに出会いました。

バトンタッチから何年の時点でその成否を評価するのが適切なのかは私には分かりませんが、いずれの事例からもバトンを渡す側と受け取る側の双方の「その時に至るまで」の真摯な思いが伝わって来ました。



事業の経営資源はヒト・モノ・カネ・ノウハウといいますが、優良企業には当然ながらそのすべてに優れたものがあるものです。しかし長期的に考えますとモノ・カネ・ノウハウはすべてヒト資源が作り出すもの、所詮はヒトに従ってくるものです。私が見た世襲・禅譲・M&Aのいずれのケースも、バトンを渡す人が受け取るヒトの資質と姿勢を見極めたうえで決定された賢明な選択でした。きっと成功されることと思っています。

さて他人事ではなく私もバトンを持って走り続ける熟年ランナーですが、いずれは誰かにバトンをタッチしなければなりません。

創業時から“ユーザーとメーカーを技術で結ぶプロデューサー”として、仕事の質を高め「お客さまにとって最適の生産システムと納得のソリューションを提供する」という当社なりの「理想の灯」を掲げながら走り続けてきました。近年は幸いなことに少人数の会社ながら、組織としての機能を生かして活動が出来るところまでたどり着けたことを嬉しく思っています。

当社のような小さな組織でも「個を活かすために組織があり、組織を活かすために個が責任を持つ」ことが重要なテーマです。組織のトップに立つリーダーは、経営者として守るべき基本原則と目標やあるべき姿を実現するために自分が信じる道に組織を引っ張っていく「ブレがなく粘り強いトルクのある主軸」を持たなければなりません。決して高速回転仕様の必要はないと思います。

私もバトンを渡す側のランナーとして、「理想の灯」を受け繋いでくれる組織とリーダーの出来上がり具合をここ暫くは見極めながら、距離の短いタッチゾーンですがシッカリ活用して粘っこく頑張ろうと思っています。

分かりやすい話題の技術

Intelligible Recent Technics ★

No.109

“放電革命によるものづくり生産革命” 電極‘ゼロ消耗’を実現！
話題の新製品

「リニアモータ駆動 高速形彫り放電加工機 AGシリーズ」

(株)ソディック 営業技術課 課長 上ノ町 哲也

前文

近年の国内ものづくり産業は、高精度化や高速化は当然のことながら、国際化を意識した競争力強化にどう対応するかという大きな問題に直面している。これらを解決すべく、ソディックは、ものづくりでの様々なお客様からの要望をとりまとめ、総合的に分析し、その内容を具現化した製品を開発した。本稿では、更なる短納期化、高精度化、高付加価値化を強力に支援する「リニアモータ駆動 高速形彫り放電加工機 AGシリーズ」(図1(図はAG35L))について、機械の特長、加工性能、および、その効果・効用を中心に紹介する。



図1 AG35L

第一章 「AGシリーズ」機械の特長

電極‘ゼロ消耗’の加工特性

放電加工は電気エネルギーによる非接触式の転写加工方法であり、導電性の材質は全て加工可能、柔らかい材質で硬いものを加工可能、加工反力が小さく形状の歪みが小さいため高精度加工に有利、定量的で正確なエネルギー制

御が容易で微細精密加工に優れる、工具形状に依存せず狭スリット・シャープエッジ・バリが生じない加工が可能、などの特長がある。特に、高硬度材への加工・深さ方向への対応で絶対的な優位性をもつ。

さて、近年、原材料の高騰、原油価格の上昇

により、更なる経費削減が要求されている。彫り放電加工機の電極材として主に使用されている銅の価格も短期間で急上昇し、その対策としてグラファイト電極材の活用が必要となってきた。「AGシリーズ」の開発では、銅とならび電極材として適しているグラファイトに再着目した。グラファイトの特長は多岐にわたる。

購入費が安価、良好な被切削性、線膨張係数が小さい、質量が小さい、錆びない、接着が可能、などである。その反面、加工が不安定・電極消耗が多いなどの改善すべき要素があった。しかし、

「AGシリーズ」では、グラファイト電極を用いた加工で電極「ゼロ消耗」(電極消耗率0.06%以下と定義)を実現、安定した高速加工を形状によらず常に維持でき、総加工時間の短縮、電極製作費の削減に加え、作業効率の向上、作業手順の改善をもたらした。この特長は、自動車関係のインパネ・フロントグリル・リアバンパ、ランプボックスの金型、ならびにダイキャスト金型、白物家電金型の補強リブに应用される幅の狭い深溝加工部(リブ加工)などで絶大な効果が得られる。

自社開発 高応答リニアモータ

1998年に誕生した当社リニアモータ駆動放電加工機は、10年が経過した現在でも、導入初期の精度・品質を保っていることが実証・評価されており、これをもとに機械精度保証期間を10年として長期保証体制を確立した。物づくりの現場に安心と安全を提供し、高品質化・安定生産・稼働時間向上に貢献している。

リニアモータは、数値制御電源装置からの超高速指令に対し、位置・時間ともに正確に追従、放電加工の高速・高精度・高効率化を実現した。コイルとマグネットが非接触であり、伝達機構部品のねじれや磨耗がなく、バックラッ

シのない正確な軸移動が常時可能で、高速・高精度加工を長期にわたり再現性高く行なえる。

今回の「ゼロ消耗」実現もこのリニアモータ駆動による足腰の強い高い応答性能があつての賜物である。

熱変位対策

機械各部に空気を循環させ、室温変化の影響を最小限に抑えている。また、機械内部に断熱材を配置、外周部のカバーリングで外部からの熱影響を遮断する、など徹底した対策を施している。

このほか、昼夜で室温が大幅に変化する環境での熱変位対策として、その影響を最大限に抑制できる「サーマル・マルチフィット」(オプション)を搭載可能である。機械各部に設置した多数の精密温度センサーで機械の温度を常に監視し、高精度を常時維持するよう補正・制御できる。

超高速シリアル通信技術を採用 自社開発新数値制御電源装置「LP電源」

「AGシリーズ」では「LP電源」を標準搭載し、業界初となる1Gbit/secの超高速シリアル通信技術を採用、全ての制御系に使用し、駆動性能・サーボ応答性を格段に向上させた。高応答リニアモータ、モーションコントローラなどソディック独自の要素技術との相乗効果で、放電加工技術を更に向上させることに成功した。

また、新設計の操作パネル・コントロールヘッドは、操作性を最優先に設計した新型キーボード、視認性の高い配色を施した操作パネルレイアウト、使用頻度の高いボタン形状の凹凸化など、細部におよび人間工学を徹底追及している。超高速シリアル通信技術による処理速度の向上を加え、初心者から上級者まで様々な作業者が快適に操作できる環境を整えている。

第二章 「AGシリーズ」による加工実例

「AGシリーズ」では、グラファイト電極を用いた加工で、電極消耗率を限りなくゼロとすることに成功。加工速度はもとより加工性能を劇的に進化させた。また、形状を問わず安定した加工ができ、加工開始直後から別の作業場に移れるため、効率よい時間配分、機械稼働時間の向上が可能である。実際に弊社機械をお使いのお客様による評価を以下に事例を挙げさせて頂きながら紹介する。

図2は、自動車のハンドルコラムカバー用金型の加工実例である。

近年、車産業においても車その物の軽量化に向けて、各社、取り組んでいる。

車内ダッシュボードなどのプラスチック・カバーも薄くし、その代わりに強度を持たせるために裏に補強リブを設けている。このリブは、金型製作には加工し難く欠かせないもので、放電加工に頼る割合が大である。以前はこの加工も電極を2本以上使用して加工していたが、今回の弊社AGシリーズの機械では、1本で加工可能となり、生産現場では、画期的な時間短縮・コ

スト削減となった。

ここで紹介する事例では、「EL大」「EL小」「ELリブ」と称した3種の電極を用いた。電極の大きさ・形状を問わず、各々電極1本で高速・高品位加工が可能で、特に多数種の電極が必要な場合、経費削減・納期短縮の面で多大な期待もてることわかる。

図3は、スピーカの裏リブ加工である。加工物材質はNAK80、加工深さは2.4mmで、使用した電極材はグラファイト(ISO63)。従来、電極が3本、加工時間は約15時間必要であったところ、本例では、電極を1本に削減、なお且つ、加工時間を40%短縮できた。

安心して加工ができるので、夜間稼働させて、翌朝は問題なく加工が終わっている。その結果、1日の製作金型数を2型から3型へ増やすことが可能となった。現在では、グラファイト電極の手配が追いつかないほどである。弊社機械の性能向上で、現場では、別の嬉しい問題が発生しているとのことだ。

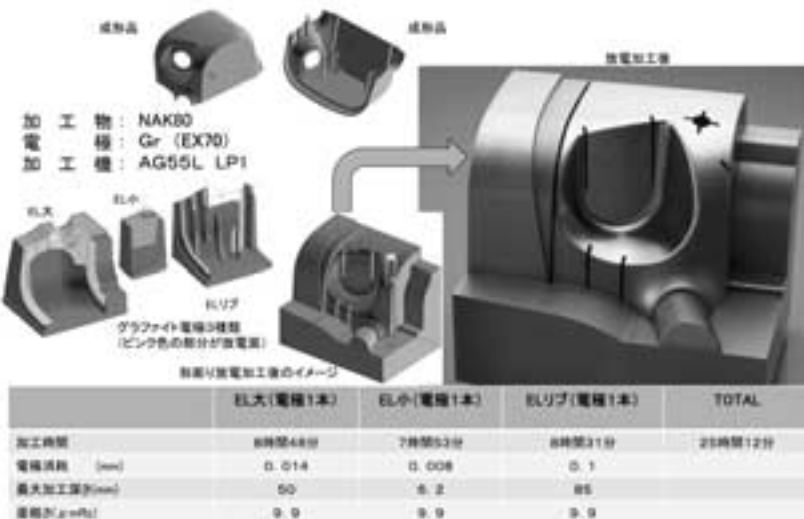


図2

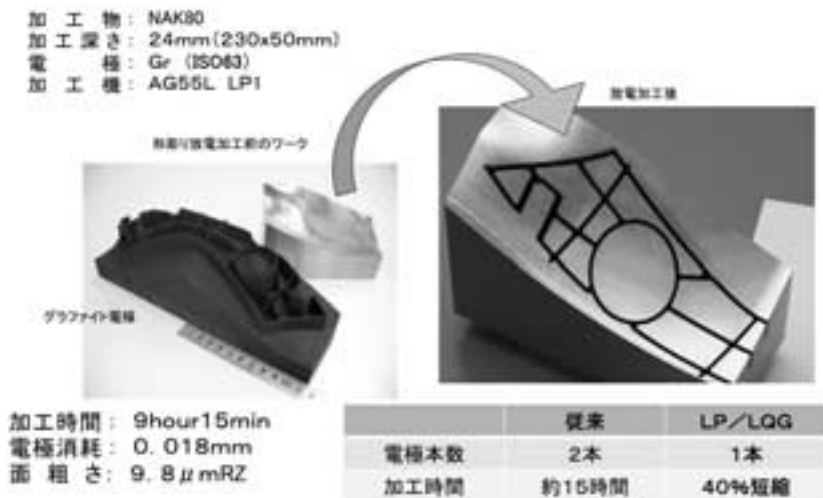


図3

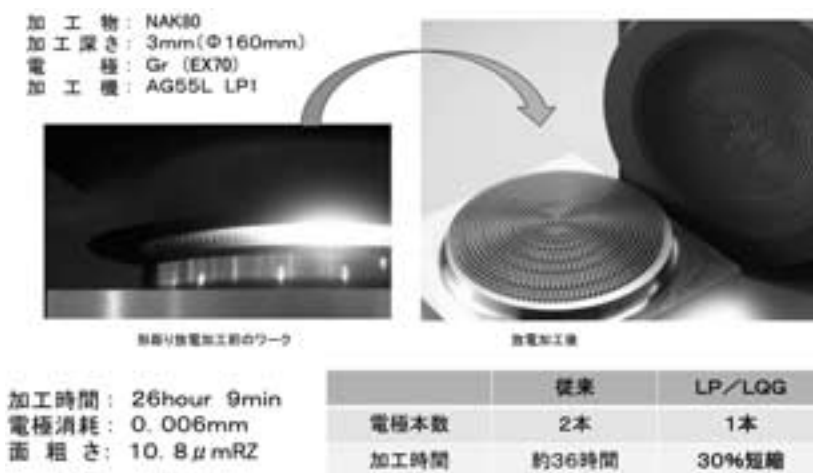
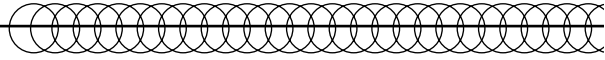


図4

図4は、スピーカグリル形状の加工実例である。加工物材質はNAK80で、使用した電極はグラフアイト(EX70)である。160mmの範囲内に小径穴が多数ある電極で高速・高精度加工を行なった。形状精度を向上させたとともに、電極必要本数を2本から1本に、また、加工時間を30%短縮した実例である。

後文

今回紹介した「リニアモータ駆動 高速形彫り放電加工機 AGシリーズ」は、金型づくりでの更なる短納期化、高精度化、高付加価値化を実現、物づくりの現場で多大な経済的効果を生み出せる。この製品は、ものづくりという重要な基幹産業にとって欠かせない存在であり、これからの高度技術革新に貢献しながら、様々な「物づくり生産革命」をひきおこす根源になっていると確信する。



平成20年度SE講座・更新研修講師打ち合わせ会

日 時：5月9日(金) 15:30~16:30

場 所：機械工具会館 5階 会議室

出席者：SE講座講師5名(代理1名)、更新研修講師1名、事務局2名

冒頭専務理事より本年度の基本方針と新講座についての説明があった。出席された講師各位の自己紹介の後、議事に入る。

議 題：

1) 20年度講座集合教育日程・開催場所の報告

SE講座： 10月9日~10日 (東京) 仏教伝道センター
10月11日 (東京) 専売ビル
10月16日~18日 (名古屋) I.M.Yビル
10月23日~25日 (大阪) 新梅田研修センター
更新研修： 11月6日 (東京) 仏教伝道センター
11月11日 (名古屋) I.M.Yビル

2) 19年度SE講座・更新研修総括及びテスト結果

専務理事より報告。SE講座は大阪会場を加え3会場で実施したが予測以上の受講生が参加し盛況であった。更新研修は例年通り定員に満たず、この講座をより魅力あるものとして受講生参加増を図りたい。テスト結果については、平均点はかなりのレベルであった。

3) 19年度講座アンケート報告

各講座へのアンケート結果は既に直接送付済み。講座全体へのアンケート結果については、教育委員会で検討を行った方針を報告。要望のあった新しい講義項目については可能な限りそれぞれ関連する講座に織り込む事を担当講師に依頼。圧倒的に要望の多かった講義時間の短縮及び終了時間を繰り上げる点については、今年度よりバラつきのあった講義時間に対し100分を最長に講義時間の調整を行った。

4) 20年度SE講座・更新研修募集要項内容について

SE講座では「NCの動向」を新講座「研削盤の用途と研削加工の動向」に変更。更新研修では「工作機械業界の商品開発」を新講座「最先端のものづくりと連携戦略」に変更。講座名、講座内容、講師経歴などの確認を行った。

5) その他

テキスト・テスト問題改定の有無、講師宿泊手配などを確認。



日工販SE合格者 第153回発表

今回は5月の合格者44名です。

認定No.	会社名	合格者名	認定No.	会社名	合格者名
08-17-2082	(株)トミタ	小田 島賢	08-17-2104	東芝ファイナンス(株)	中山 隆二
08-17-2083	(株)NaITO	福留 豊	08-17-2105	東芝ファイナンス(株)	内田 誠
08-17-2084	(株)NaITO	鈴木 恒夫	08-17-2106	東芝ファイナンス(株)	神白 憲之
08-17-2085	岡谷機販(株)	蒲 貴雄	08-17-2107	東芝ファイナンス(株)	後藤 清秀
08-17-2086	サンコー商事(株)	長谷川真也	08-17-2108	東芝ファイナンス(株)	池田 和充
08-17-2087	サンコー商事(株)	山形 京史	08-17-2109	首都圏リース(株)	町田 栄太
08-17-2088	サンコー商事(株)	吉川 哲二	08-17-2110	首都圏リース(株)	中屋 秀俊
08-17-2089	サンコー商事(株)	鈴木 良輔	08-17-2111	三井住友ファイナンス&リース(株)	金子 博
08-17-2090	サンコー商事(株)	近藤 秀樹	08-17-2112	三井住友ファイナンス&リース(株)	寺牛 誠
08-17-2091	ワシノ商事(株)	吉川 健吾	08-17-2113	近畿総合リース(株)	森口 宏志
08-17-2092	西川産業(株)	植野 智	08-17-2114	近畿総合リース(株)	西井 大樹
08-17-2093	西川産業(株)	上田 貢吉	08-17-2115	近畿総合リース(株)	長尾 章
08-17-2094	大幸産業(株)	山田 吉生	08-17-2116	近畿総合リース(株)	亀井 哲
08-17-2095	大幸産業(株)	小林 武志	08-17-2117	近畿総合リース(株)	安井 清史
08-17-2096	オークマ(株)	浅井 英二	08-17-2118	山田マシンツール(株)	小玉 勇輝
08-17-2097	(株)シギヤ精機製作所	松田 要	08-17-2119	マーボス(株)	北本 行秀
08-17-2098	メルダシステムエンジニアリング(株)	宇佐美一生	08-17-2120	岩谷産業(株)	谷本 博紀
08-17-2099	メルダシステムエンジニアリング(株)	副田 和裕	08-17-2121	春日鋼機(株)	伊藤 哲生
08-17-2100	メルダシステムエンジニアリング(株)	藤井 徹	08-17-2122	菱光商事(株)	岡本 将
08-17-2101	協同リース(株)	島 正和	08-17-2123	吉岡興業(株)	井上 真吾
08-17-2102	興銀リース(株)	谷川 和哉	08-17-2124	マザックニシカワ(株)	池上幸之助
08-17-2103	三菱UFJリース(株)	岡本 耕助	08-17-2125	ひろぎんリース(株)	今田 時人

更新研修合格者 第103回発表

今回は5月の合格者2名です。

認定No.	会社名	合格者名
08-10R-1253	(株)山 善	吉田 雄三
08-12R-1570	浜松貿易(株)	木本 克洋

知って得る生活医学 腰痛

人間だれしも一生涯のうちで腰の痛みを経験しない人はまずいないといつてよいでしょう。

腰痛は、日頃の無理が少しずつ積み重なっておこる場合が多く、その原因も複雑多岐にわたります。整形外科疾患、内科疾患、泌尿器科疾患、産婦人科疾患など、腰痛を引き起こす病気は多領域にわたりますが、ここでは、もっとも多い整形外科領域の腰痛をとりあげます。

腰痛を引き起こす主な疾患

1. 変形性脊椎症

老化による骨の変形が原因となるものです。お年寄りの腰痛は、大部分がこの変形性脊椎症です。腰のあたりにだるさを感じたり、腰の運動性が悪くなります。重労働を続けた人や、太っている人にみられがちです。

2. 腰痛症

なんとなく腰が痛いといったもので、レントゲン検査でも骨に異常はみられません。原因ははっきりせず、若い人、特に事務系のサラリーマンに多くみられるのが特徴です。姿勢が悪い人、座りっぱなしで仕事をする人、太りすぎの人、運動不足の人などがよく訴える症状です。

3. 椎間板ヘルニア

20代から30代の若い人に多くみられます。腰と下肢のうしろにそって痛む坐骨神経痛と、すねの外側や足の甲などにシビレ感を伴う症状が特徴となります。椎間板の中にある硬い髄核(線維性組織からできている)が、外傷などの原因で脊椎管腔(脊椎神経が通っている管)にとび出して神経を圧迫するためにおこるものです。これは、ギックリ腰から始まる急性期のものと、徐々に慢性におこるものがあります。膝を伸ばしたまま下肢を上を持ち上げたとき、ももの

後ろ側につれるような痛みがあれば、椎間板ヘルニアの疑いがあると考えられます。

4. ギックリ腰

ゴルフスイングなどして急に腰をひねったとき、中腰で重い荷物を持ったとき、腰をかがめたときなどに突然おこる激しい痛みをいいます。一種のスジちがいの状態です。1~2週間で治ってしまう場合と、椎間板ヘルニアに移行する場合があります。運動の激しい若い年代から、中高年齢層にかけて広くおこります。腰の構造の弱い人は注意が大切です。

腰痛の応急処置は

急に痛みが襲ってきたら、あわてず、さわがず、まず安静が第一です。

自分がいちばん楽だと思ふ姿勢で横になっていれば、軽いもので数時間、普通でも1週間ほど寝ていれば、痛みは徐々にうすらぎます。その際はやわらかいベッドやふかふかのふとんではいけません。

2~3日経過をみて、痛みがやわらいできてから医師の診察を受けに行ってください。

脊椎カリエス、脊椎ガン、慢性の椎間板ヘルニアなどもギックリ腰から始まることが多いです。

安静にしてもよくなる場合は、必ず整形外科の専門医に受診してください。

椎間板ヘルニアでも消炎鎮痛剤を飲めば2~3週間で痛みはおさまります。

痛みが続いてよくなるような場合は、入院して検査を受け、手術をする場合もあります。

変形性脊椎症の場合は、入浴による温熱療法や骨盤索引、あるいは腰にさらしや軟性のコルセットを装着することもあります。

(財)ライフ・プランニング・センター 健康教育サービスセンター発行
「生活医学シリーズ(三上隆三著「腰痛にならないために」)より抜粋

「記憶がなくなるまで飲んでも、なぜ家にたどり着けるのか？」

川島隆太・泰羅雅登共著(ダイヤモンド社)



岡谷機販(株)
取締役会長
谷 英 夫

このタイトルに「そうだよなぁ」と思わず手に取った本である。かなり酒を飲んで、気が付くと自宅のリビングのソファで寝ている、ということがある。どうやって帰ってきたかは覚えていない。メーカーの某部長と会社の社員2人を連れて居酒屋に行き好物の芋焼酎を飲みながら、「サブプライムローンの余波で自動車業界が湿ってきた。」とか「北京オリンピックで日本はいくつ金メダルを取れる？」とかの話になって、「今年の阪神は下馬評と違って強いな。」あたりまでは覚えている。ところで、途中で増えた二人は誰だっけ？ 見回すと鞆もあるし、財布もある。携帯電話も無くしていない。痛む頭で必死で記憶を遡るのだが...

自分の行動を見られているような恥ずかしさを感じつつも読み進むうちに、フムフムなるほど脳の機能が分かる一冊である。

人の頭の機能には作る、溜めておく、読み出す、という三つの機能がある。「なぜ家にたどり着けるのか？」は記憶を作ることが出来ない状態なのに、「頭頂連合野(脳ナビ)」という機能が働いているからである。人間の脳のなかに、地図があり酔っていて記憶を作れない状態なのに、これまでの経験としての帰宅経路を呼び出して、「いつもの道」である限り、なんとか家に着くそうだ。こうした機能は、脳はごく一部で、他にも多数の機能を持つということが「お酒と脳の関係」を通じて書かれている。

脳医学というと、アカデミックな領域で私共一般人には敷居が高いが、この本では「酒と脳のアブナイ関係」を話題に、実に分かりやすい。「酒を飲むと、脳は萎縮する。物忘れ、そして、認知症」といった身につつまされるような話にドキッとしつつも、脳トレや脳を鍛える方法に「これなら出来るかも、やってみようかな？」と思ったりする。

また本書では、ホロ酔い会議が脳を活性化させる！。脳が最も活性化(リラックス)する時だったら「ホロ酔い会議」は如何？ 酒を飲むと効率が上がる、酒を飲んでやった方が調子のいいことがあります。それは「嫌な仕事！！」とあると「えっ、そうなんですか教授」と思わず身を乗り出す。

著者は「飲める」と「飲めない」の二人の脳科学者。酒脳(しゅのう)対談も交えて、分かりやすく、尚且つオモシロ真面目に大討論。コラムに、アルコール依存症の診断ガイドが載っている。疑わしき読者にとっては、こっそりチェックもできる。

酒に負けない強い意志、前頭前野を鍛えよう！などの筆者の説得力ある内容には、奥様方から「ほらね」と言う声が聞こえそうである。WHO(世界保健機関)の意見を聞くまでもなく、飲みすぎは健康を損なうが、楽しいお酒は発想を豊かにし、人とのコミュニケーションを一層高めてくれる。酒は「百薬の長」と信じ、これからもよい関係を続けていきたい。

工作機械と私



(株)立花エレクトック
産業メカトロニクス部
産メカ二課 課長
平井 嘉久

現在の所属部署の前身となる「産業機械部」に配属された当時は「バブル景気崩壊」直後であり、最悪の市況であったと記憶しております。そんな環境の中、会社の新人研修や各メーカー主催の研修会への参加を終え、先輩からOJTを実施していただいていたある週末のこと「明日の土曜日やけど、午後は時間空けられるか？」隣の課の課長からでした。新人である私は予定のある無しにかかわらず「空いています」と即答しました。「じゃあ、明日13時ここで待ってるわな」と某CAD/CAMメーカーの名刺と地図を渡されました。この隣の課の課長こそ、後に上司となり、現在の私が「師」と仰ぐ方です。その日を境に約三年間「CAD/CAMの専任営業」として活動することになりました。

CAD/CAMの勉強は必死でしました。当時の私は「技術さえわかれば売れるもの」と思い込んでいました。ですから「技術武装さえ」して営業すれば絶対売れるものと信じていました。新規開拓と称した「飛び込み営業」を開始し一ヵ月、二ヵ月・・・そして三ヵ月が経過、毎日、毎日、新規訪問を行っているうちに、話を聞いてくださるお客様も現れ始めました。ですが、カタログPRや見積提出を実施しても販売の方はさっぱりでした。そんなある日、よく私の話を聞いてくださったお客様から「今、CAD/CAMを検討している取引先がある、君は熱心やから紹介したるわ」と、すごく嬉しかった・・・。早速、アポイントを取り訪問、そしていつものカタログPRを実施しました。実施後、お客様から一言「性能がいいのは何となくわかった。でもウチが導入して何のメリットがあるのか全然伝わらなかった。」と・・・。時は同じ頃、前述の上司からCAD/CAMの商談があるから同行するように指示がありました。今回の商談は上司が他のお客様から紹介されたとの事。商談後は・・・目からうろこが落ちる思いでした。上司は私と同様のカタログ説明をせず、終始お客様の話を聞いていました。そして要望に対するポイントのみを説明、最後は要望に即した提案まで行っていました。結果お客様は大満足でCAD/CAMだけでなく他の工作機械の商談にまで発展していました。これまでの私は「熱心」を勘違いし、お客様の思いはそっちのけで単に自分勝手なカタログ説明をして自己満足していただけである事をこの時に痛感しました。これでは、売れるはずもありませんね。

後にこの上司から教わったこと＝「お客様の心を掴む」という言葉。これは現在の私の営業信条である「顧客第一主義」の礎となる言葉です。この言葉を追い求めこれまで工作機械の営業に邁進してきました。「お客の立場に立った営業を行う事」給料はお客さんから頂いている、先輩への指導の際、当たり前の様に口にしておりますが、ご披露した様なさまざま経験から気づき学んだことであります。

このような経験を積み重ね、工作機械販売に携わり丸17年が経過致しました。ここまでやってこられたのは、会社の諸先輩方、同僚や後輩、メーカーの皆さん、そしてお客様・・・多くの方々から頂いたご支援の賜物であることを感謝し、今後も工作機械販売の業界に貢献すべく大いに仕事に精進する所存です。



リレー随筆



出張にて



NTTファイナンス(株)
東海支店法人営業担当
課長代理
鬼頭 秀和

日本企業の海外展開によりリースのニーズも国内のみならず海外へも広がり、近年は海外設置型案件の取り組み(クロスボーダーリース)も多くなり、出張で中国のとある地方を訪問した時に体験した、印象的だった出来事をご紹介します。

あれは上海から車で3時間ほどの目的地へ同僚(北京常駐)と移動中の事です。途中、休憩の為に立ち寄ったドライブインの駐車場で我々のタクシー(GM製Buick)の隣に荷物を山ほど積んだトラック(中国製で年式も古そうな)が入ってきました。トラックの中から若い(?)女性がドアを勢いよく開けて降りてくると同時に後部座席で振動を感じる程のものすごい音がして彼女の開けたドアがタクシーのフェンダーにぶつかり、フェンダーに深いキズが出来たのです。タクシーの運転手は車を飛び出し彼女に大声で抗議するのですが、当の彼女はガムを噛みながらヘラヘラと笑いどこかへ行っていました。次にトラックの運転手が降りて来るのですが、これまた、タクシーの運転手の怒鳴り声もむなしく、彼は地面に唾を吐きながらどこかへ行ってしまったのです。この光景を車の中から見ていたのですが、日本だったら間違い無く大喧嘩です。結局「対物保険・車両保険などの保険制度も整備されておらず、お金が無い人へ修理代の請求も出来ない」との事で、タクシーの運転手は泣き寝入りするのですが、「決して謝らない」文化を実際目の前で見ると結構ショッキングな出来事であり、文化の違いとはいえ日本人の感覚では決して理解出来ない一面でした。

ここまでですと、「中国の批判か」と思われがちですが、当の私は「大の中国好き」であり、移動の際に船で渡った雄大な揚子江、ぶらりと立ち寄ったものの時間が無くて途中で引き返してきた故宮など日本には有り得ない規模の自然と構造物に接すると、スケールの違いに感動し、中国4,000年の歴史に圧倒されるのです。また、食べ物いろいろ言われていますが)に関しても、北京ダック、上海蟹、水餃子等どれも大変おいしいのです。(東北地方の香草系料理はちょっと苦手ですが、ちょっとお腹がゆるくなる時もありますが、)いつも仕事での訪問の為にほとんど観光も出来ませんが、いつかはプライベートで水彩画にあるような風景を見るなど中国をゆったりと満喫したいと思います。

それでは「リレー随筆」の次号は、(株)大成の榎本清孝さんをお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

統

計

資

料

工作機械・FA 流通動態調査 1

統計1

単位百万円

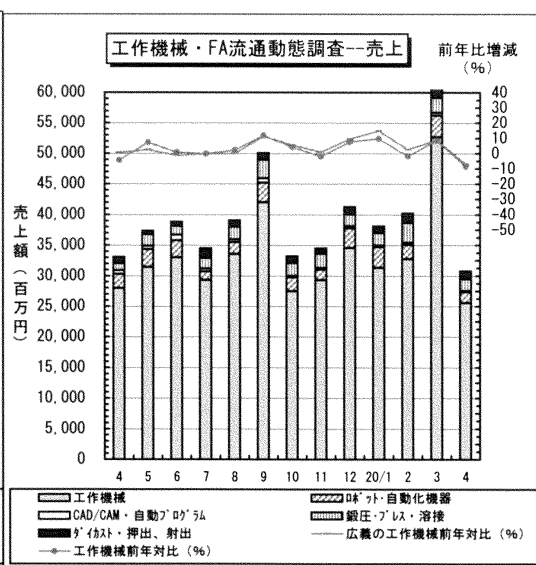
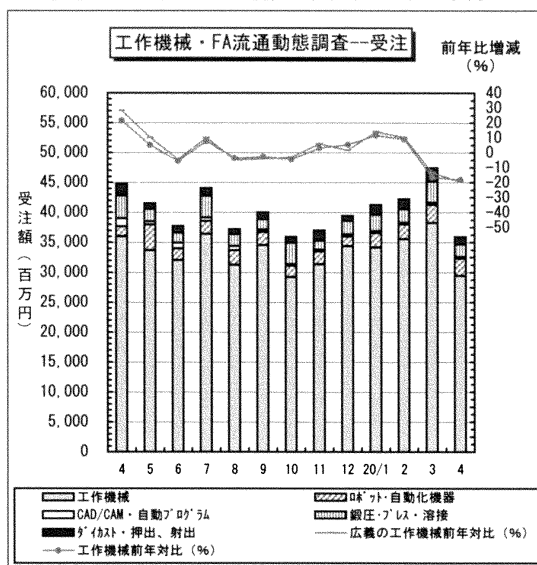
36社合計 調査月次	受 注					売 上				
	20/4	前月比	前年比	20/1-20/4	前年比	20/4	前月比	前年比	20/1-20/4	前年比
工作機械	29,448	-23.0%	-18.2%	137,422	-5.2%	25,579	-51.4%	-8.5%	142,347	2.9%
広義の 工作 機械	2,862	-6.7%	73.8%	10,781	9.2%	1,762	-50.2%	-23.9%	10,981	13.0%
ロボット・自動化機器	275	-18.3%	-79.7%	1,222	-72.6%	215	-54.1%	-65.0%	1,259	-59.3%
CAD/CAM・自動プログラム	2,070	-41.2%	-45.3%	10,570	13.3%	1,911	-22.7%	65.3%	9,682	43.2%
鍛圧・プレス・溶接	1,315	-42.4%	-33.1%	6,970	29.2%	1,346	-37.7%	27.8%	6,179	60.7%
ダイスト・押出・射出	35,970	-24.2%	-19.6%	166,965	-4.0%	30,814	-49.7%	-6.9%	170,449	5.4%
小計	10,780	-48.4%	-14.8%	59,680	1.1%	13,541	-32.5%	10.7%	61,632	3.2%
工作機械以外の扱い商品	53,511	-29.8%	-16.0%	254,580	-3.2%	49,120	-47.6%	-1.3%	260,516	3.2%
合計	1,464	2.9%	8.2%							
従業員数										

統計2

単位百万円

35社合計 調査月次	受 注					売 上				
	20/4	前月比	前年比	20/1-20/4	前年比	20/4	前月比	前年比	20/1-20/4	前年比
直販 (内リース)	20,540	-35.4%	-16.5%	100,854	-0.5%	19,433	-47.0%	-0.5%	99,683	7.9%
卸	1,797	-10.3%	20.8%	7,096	-12.4%	1,697	-44.5%	-19.8%	8,595	-41.8%
内 訳	9,041	-16.3%	-13.1%	38,992	-8.4%	8,690	-35.7%	-5.8%	41,938	-7.1%
輸入	676	101.2%	-83.1%	2,608	-47.9%	172	-87.9%	-12.2%	2,150	115.4%
輸出 (内間接輸出)	5,362	-15.4%	-18.8%	25,606	3.4%	5,571	-30.8%	11.6%	23,714	32.3%
808	-22.5%		2,832	85.4%	1,002	-45.7%		4,653	92.9%	
従業員数	953	0.0%	6.1%							

注：本調査は、20年4月より集計対象会員を見直し、前年分も集計し直した数値と比較した。
 会員72社中統計1に関しては40社、統計2に関しては30社の回答を得て集計したものである。
 折れ線グラフは工作機械及び広義の工作機械の前年比である。
 参考までに今月のデータ提供会社総数は42社である。



工作機械業種別受注額(2008年4月)

5月16日発表

(単位:百万円、%)

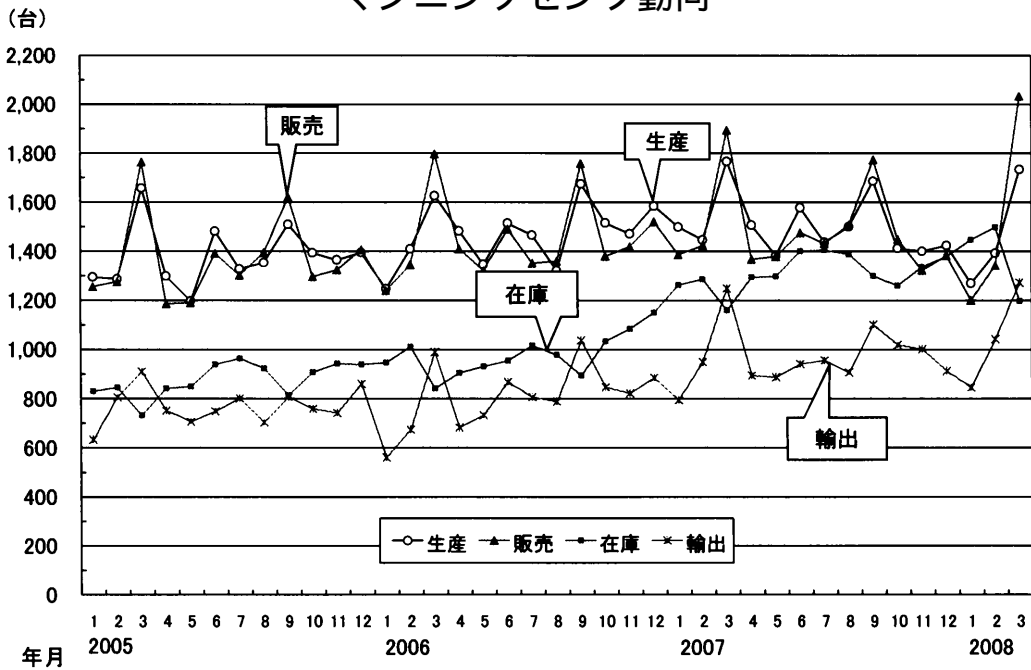
需要業種	期間	2007年 累計	前年比	2007年 10~12月 累計	2008年 1~3月 累計	前期比	前年 同期比	2008年 1~4月累計	前年 同期比	4月分	前月比	前年 同月比
機械 製造業	1. 鉄鋼・非鉄金属	12,664	97.4	3,451	3,397	98.4	109.9	4,615	122.0	1,218	97.1	175.5
	2. 金属製品	21,582	102.6	5,788	5,619	97.1	115.8	7,444	113.1	1,825	82.4	105.5
	3. 一般機械 (内金型)	319,284	96.7	77,015	77,205	100.2	96.7	101,057	92.6	23,852	84.2	81.4
	4. 自動車 (内自動車部品)	56,975	85.5	13,871	11,975	86.3	76.4	15,686	74.1	3,711	68.2	67.6
	5. 電気機械	213,125	109.0	56,393	55,303	98.1	99.4	71,296	100.3	15,993	88.8	103.2
	6. 精密機械	92,180	103.4	24,391	27,131	111.2	117.2	35,285	121.5	8,154	91.5	138.0
	5~6. 電気・精密計	46,355	88.6	12,700	10,303	81.1	82.4	12,548	81.1	2,245	62.4	75.6
	7. 航空機・造船・運送用機械	31,571	85.8	9,491	8,225	86.7	107.9	11,007	114.8	2,782	106.7	142.0
	3~7. 小計	77,926	87.4	22,191	18,528	83.5	92.0	23,555	94.0	5,027	81.0	102.0
	8. その他製造業	29,796	110.1	6,989	8,608	123.2	99.9	11,749	106.7	3,141	77.3	131.1
	9. 官公需・学校	640,131	99.7	162,588	159,644	98.2	97.2	207,667	96.0	48,013	84.8	92.1
	10. その他需要部門	34,794	92.2	8,989	7,888	87.8	81.9	9,744	76.9	1,856	75.5	61.0
11. 商社・代理店	2,072	98.7	942	243	25.8	63.3	278	66.0	35	61.4	94.6	
1~11. 内需合計	8,164	97.6	1,803	2,152	119.4	96.1	2,897	95.5	745	100.5	93.7	
12. 外需	7,017	78.2	1,406	1,703	121.1	92.3	2,196	82.4	493	82.3	60.2	
1~12. 受注累計 (内NC機)	726,424	99.1	184,967	180,646	97.7	97.0	234,831	95.7	54,185	84.8	91.5	
	863,567	122.7	218,394	211,852	97.0	104.7	285,858	105.6	74,006	95.0	108.1	
	1,589,991	110.6	403,361	392,498	97.3	101.0	520,689	100.9	128,191	90.4	100.4	
	1,529,644	111.3	387,557	378,045	97.5	101.3	501,211	101.1	123,166	90.3	100.5	

販売額	1,522,632	108.2	370,775	424,287	114.4	105.2	523,366	103.8	99,079	51.5	98.4
(内NC機)	1,467,631	108.8	357,358	408,069	114.2	105.1	503,883	103.9	95,814	51.6	98.9
受注残高	758,815	110.9	758,815	722,147	95.2	107.8	752,879	107.4	752,879	104.3	107.4
(内NC機)	721,952	111.1	721,952	688,203	95.3	108.1	717,486	107.5	717,486	104.3	107.5

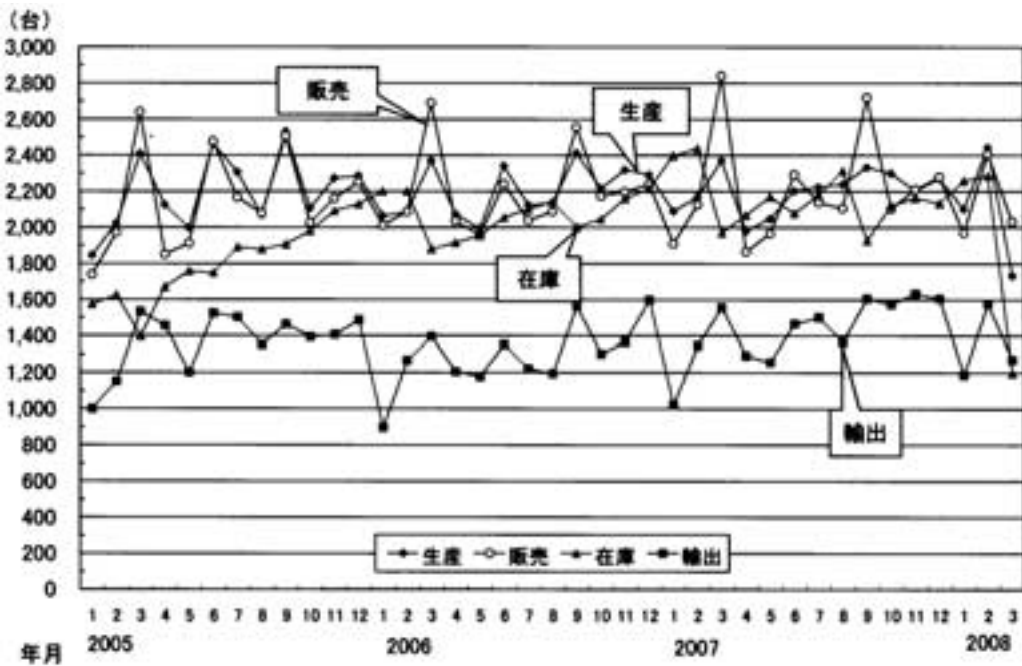
出所(社)日本工作機械工業会

見てわかる 3年間の代表2機種トレンド

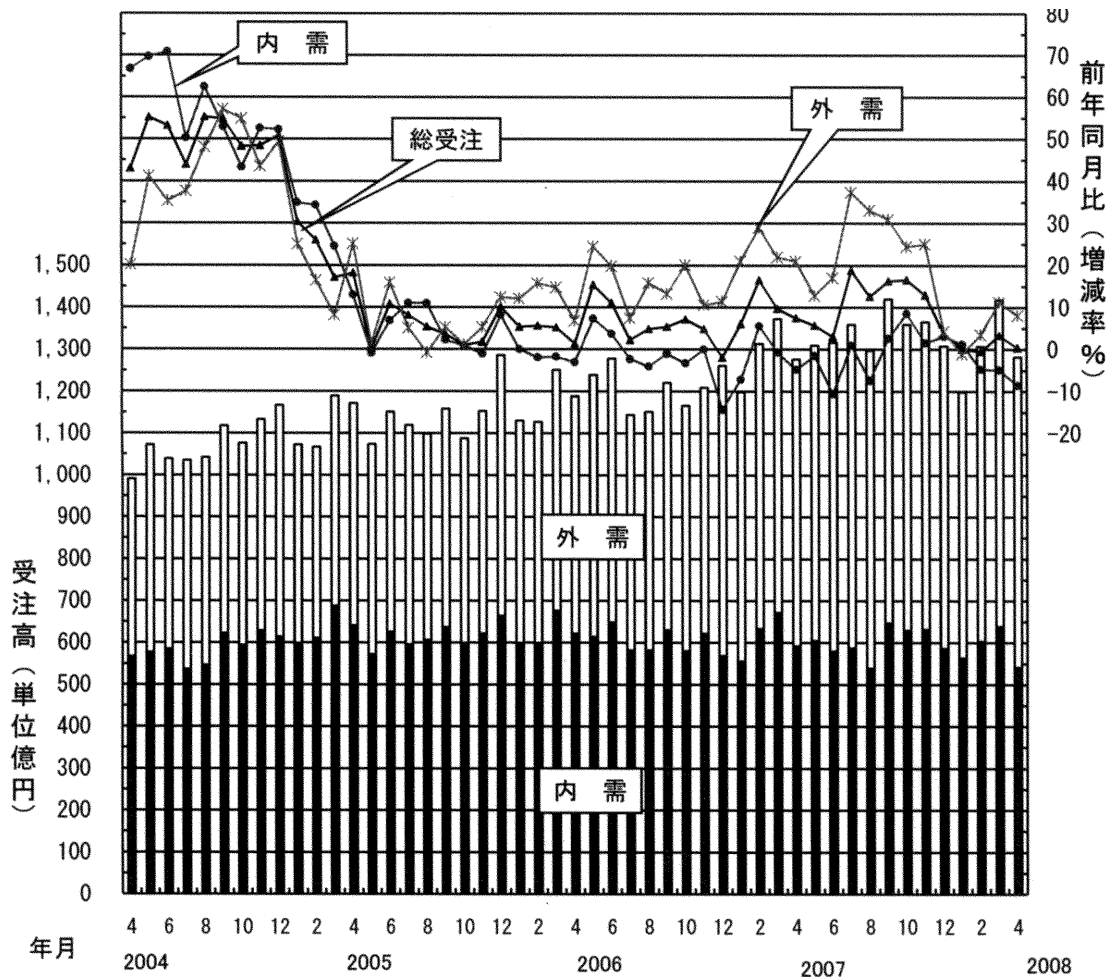
マシニングセンタ動向



NC旋盤動向



工作機械受注高月別推移



コメント：工作機械受注高月別推移

平成20年第1四半期は1月は多少の落ち込みがあったが、2月、3月は相変わらず高い水準で推移。前年比では内需は3.0%減少したが、外需は堅調で4.7%増。総計で1.0%増となった。前四半期と比較すると、内需は2.3%減、外需3.0%減、総計で2.7%減となった。今後どう変化するのか推移を十分注意してみる必要があるようだ。

コメント：マシニングセンタ、NC旋盤動向(四半期ベース)

平成20年第1四半期の前年比は生産はそれぞれ6.7%減、9.4%増、販売はそれぞれ3.9%減、7.2%増とはっきりと別れた。NC旋盤は増産体制ができた効果か、輸出はそれぞれ5.6%増、17.5%増とまだまだ勢いは止まらない。

前期比では年度末効果で、生産はそれぞれ3.8%増、7.0%増、販売はそれぞれ10.2%増、11.8%増と大幅な増加となった。輸出では、それぞれ7.7%増、4.0%減と前回の逆となり明暗を分けた。

娯楽のなかに見た操縦術



三立興産(株)
名古屋支店長
宇佐美 豊

私の娯楽はプロ野球観戦、名古屋生まれの根っからのドラキチです。これは父親から引き継いだようにテレビ中継があると他の番組は全く見せてもらえなかったことが大きく影響しているようです。

中日が勝っている時はよいですが、負けている時は非常に機嫌が悪く母が可哀想だつたことを思い出します。そんな父でしたが中日球場にはよく連れて行ってくれました。また、私の通う中学校が球場のすぐ裏で学校帰りに試合や練習をよく見たのもドラキチになるきっかけでした。その影響か娘も私以上にファンクラブの会員になっております。

さて本題に入りますが、最近テレビ中継で阪神戦を見て感じたのですが、その試合は中日の先発は中田、初回到7点を取られ4回までに9失点。いくら次期エース候補でも交代するのが普通と思われるのに落合監督は平然として投げさせる。いくらお家の事情でつぎのピッチャーができあがっていないとか、146分の1とはいえ、^{A A A A}にこにこ顔でよく我慢が出来るものだと。

私の様な激情型が采配を振れば、たぶん1軍選手のほとんどがベンチには残っていないだろうと考えてしまう。彼はどんな神経の持ち主か、落合監督という人間に非常に興味がわいてきました。

事実、シーズンが終われば優勝とかAクラスの実績を必ず残している。確かにいい選手もいるがそれだけではないはずだ。

私も立場上部下の指導については色々苦労しており興味が沸いたのも一つはそこにあります。そんな折本屋で落合博光著書のコーチングという本が目につきさっそく購入することにしました。選手と営業マンとは全く同じとは言えませんが操縦法については色々参考になることが多く、中でも人を育てるという作業は非常にデリケートでひとつの成功例が次にも当てはまるとは限らないという項目については共感を覚え、これで多少なりとも落合マジックの真髄に触れることが出来たと思います。

最近ではサブプライムローン問題・原材料の高騰・原油高等我々を取り巻く状況は非常に厳しくなりつつありますが、落合監督の手法を取り入れ仕事の糧にして頑張っていくつもりです。

議事録から

第76回 政策委員会

日 時：5月14日(水) 11:00~12:00
場 所：名古屋/名古屋ダイヤビル2号館7階
出席者：尾瀬委員長委員6名、事務局1名

委員長挨拶：

お忙しい中、ご出席有難うございます。本日の議題は通常総会に向けての事業報告と決算案、予算案と大事な話がありますので政策委員会での検討宜しくお願いします。

議 題：

(1) 総会議案の件

平成19年度事業報告案と決算案について(第1号議案)

専務理事より事業報告案と決算案について説明があった。事業報告では例年通りの形式を踏襲して前段は景気動向、株価・為替動向を述べ、次いで工作機械業界全体の受注実績について説明し、次に当会の活動状況をまとめ、事業活動について詳細を報告し、会員数

の移動状況を報告。決算案では一般会計及び教育事業特別会計ともに収支差額は予算を上回るプラスとなり、次期繰越額を積み増すことになった。以上の報告で審議に入り、全員の賛成を得たので、原案を理事会に諮ることにした。

平成20年度事業計画案と予算案について(第2号議案)

専務理事より説明。審議の結果、全員の賛成を得たので、原案を理事会に諮ることにした。

(2) (社)日本鍛圧機械工業会・日刊工業新聞社主催「プレス・板金・フォーミング展」協賛の件

専務理事より説明。(社)日本鍛圧機械工業会創立60周年記念事業として2009年10月14日より東京ビッグサイトにて4日間開催予定。協賛につき全員の賛成を得たので原案を理事会に諮ることにした。

第216回 定例理事会

日 時：5月14日(水) 12:30~15:00
場 所：名古屋/名古屋ダイヤビル2号館
7階271号会議室
出席者：尾瀬会長、副会長3名、専務理事、
理事14名、監事2名、事務局1名

会長挨拶：

一昨日発表された4月の日工会受注速報は総額で1,280億円と前年同月とほぼ同じですが、内需の方は541億円で前年比8.7%減となりこれまで日工販として感じてきた景況感並の数字が

日工会にも表れるようになり内需の低迷が明白になってきたと思います。

経済全般では、日本の株価は持ち直しつつあるが、まだまだ予断を許さないという状況で、ここ2、3か月が経済全体、工作機械業界も正念場ということで注意してみて行かねばならない状況が続くのではないかと思います。

内需でいいますと、昨日の日刊工業新聞、日経産業新聞のトーンが違っているように本当に20%減位で止まり、これが底なのか、更に落ちるのか、すぐに持ち直すことは今のところ考えられない状況ですが、先行きが読みにくい状況だと思いますので、このような日工販の会合で皆さんとお会いして情報交換をするのが貴重な機会になるのではないかと思います。

受注レベル全体としては経済全体の方も工作機械業界も数字が落ちたとはいえ2002年、2003年に比べると圧倒的にまだまだ高原状態なので引き続き大きく落ちないという状況が続くことを祈っている状況ではないかと思います。

本日は第39回通常総会を中心とした議題になっていますので、ご審議を宜しくお願いします。

議 題：

[付議事項]

(1) 総会議案の件

平成19年度事業報告案と決算案(第1号議案)専務理事より事業報告の要旨を、次に決算案を説明。一般会計の収入は見直し会費増と会員数増により予算対比は増えた。一方支出では期初予算の計上の違いで差異があった部分以外では、事業補助費が各委員会予定の事業をほぼ全て実施されたが随所で予算を残したため減少し、予算に対して減となった。

その結果、収支差額は予算対比プラスとなり次期繰越金は増加した。教育事業特別会計で

は、収入はSEの受講料収入が大幅に増えたため予算対比増となる一方、支出は受講生増加によるコスト増があるが、幾分の増加にとどまり、収入増が利き収支差額はプラスとなり、次期繰越金は増加した。

5月1日に公認会計士による監査を行った。三橋監事が立ち会い、問題がない事を確認した。下野、岩切両監事よりも問題がない旨監事報告があり、審議の結果、全員の了承を得た。

平成20年度事業計画案と予算案(第2号議案)専務理事より説明。事業計画案については前回の理事会で承認を得た内容と変わらない。一般会計予算案では収入は3月末で退会した賛助会員2社減、本日の審議事項の5月入会予定の賛助会員1社、そして10月に統合予定の賛助会員2社を勘案し前年決算対比若干の増となる。支出は事業補助費で各地区の活動を充実するため前年決算対比増の支出となるが当期収支差額は若干のプラスとなり、次期繰越金見込みは微増となる。

教育事業特別会計予算案は昨年と同様かなりの受講生が見込まれ、アンケートの結果を織り込み計画を基礎講座124名、SE講座170名、更新研修60名、永世資格30名とした結果、受講料収入は前期決算対比減となる。支出は前期に更新した印刷機の能力・効率向上により段階的なテキストの内製化を図り印刷物のコスト低減を見込み総支出は前期決算対比減となり、収支差額はプラスを見込み次期繰越金の増加を見込む。

審議の結果、全員の了承を得たので通常総会に諮り承認を得ることにした。

(2) (社) 日本鍛圧機械工業会 / 日刊工業新聞社
主催『2009年プレス・板金・フォーミング展』
協賛の件

専務理事より報告。日本鍛圧機械工業会より
創立60周年記念行事として展示会開催を決め当
会に協賛要請依頼がきた。協賛による負担は発
生しない。審議の結果、全員の賛成を得て承認
された。

(3) メーカー賛助会員入会の件

(株)太陽工機(羽賀理事、高田理事推薦)より入
会希望の申し込みがあり審議の結果、賛助会員
として承認を得た。この結果、会員数は5月14
日現在正会員72社、メーカー賛助会員56社、
リース18社、計146社となる。

「報告事項」

(1) 流通動態調査平成20年4月結果

専務理事より報告。平成19年度の受注は日工
会の内需合計に対し当会の広義の受注総計は

64.5%にあたる。当会会員全社比では70%を
超えると思われる。

詳細については日工販ニュース5月号参照。

(2) 委員会報告

西部地区委員会：赤澤委員長報告。

会員懇談会3/17。今までリース賛助会員と
の会合で会ったが今回よりメーカー賛助会員
も参加。海外向は好調。国内は落ちている。
造船、建機向けがよい。懇談会後懇親会を開
催。40名参加。大阪弥生会館。詳細は日工販
ニュース4月号参照。

調査広報委員会：田尻委員長より報告。

委員会4/24。20年度の日工販ニュース掲載
内容を充実のための予算を計上。新企画賛助
会員メーカーのトップクラスとのインタ
ビュー記事の掲載、協会PR用パンフレットの
作成、JIMTOF座談会の開催を計画。7名参
加。機械工具会館。

第99回 調査広報委員会

日 時：4月24日(木) 12:30~14:00

場 所：機械工具会館5階

出席者：田尻委員長、委員4名、事務局2名

委員長挨拶：

日工会発表3月の受注実績は1,418億円と史
上二番目、外需は史上最高額を記録しまし
たが、内需は5%弱落ち込むというところ
で、我々国内側の景況感通りの状況となっ
ています。工作機械大手メーカーは大幅
に設備投資をして増産体制を確立して
おり全体の流れはよい方向に

あると思われませんが、やはり私自身国内を担
当しているものとしての景況感は落ちてい
ると感じており、新聞にも報道されてい
る通り受注が頭打ちに来ていると実感し
ています。そうした中で調査広報委員
会のテーマとして日工販のパンフレット
を作成するように理事会から命題を
与えられていますが、こうしたものを
活用して少しでも業界の活性化に役
立てればと思っています。また20年
度の予算も本日審議で確定し理事
会に諮りたく存じますのでご協力
宜しくお願い致します。

議 事：

(1)日工販ニュース編集について

5月号編集について事務局より掲載する寄稿、記事内容について説明があり承認された。

専務理事より、課題であったメーカー営業本部長クラスのインタビュー記事取材を依頼するプロが見つかった旨報告。

(2)平成20年度予算案及び事業内容

田尻委員長より説明。20年度の活動に盛り込んだ大きなポイントとしては次の通り。

インタビュー記事については、メーカー技術、生産本部長クラスのインタビューを年5回隔月に掲載する。インタビュアーは専門家に依頼し、記事校正原稿まで作成してもらう事で予算計上。

営業活動用日工販パンフレット制作予算計上。これはホームページに掲載し、各会員が必要時に各自印刷する事になる。

JIMTOF座談会は一昨年(JIMTOF同様に)会期中に会場の一室を借りて座談会を行い日工販ニュースに掲載する。

その結果、リクルート用DVD製作があった前年度に比べ総額は前年度実績より減少。またインターネット関係予算はパンフレット掲載を機会に、かねてから検討していた新しい形のホームページへの刷新費用を計上。

(3)日工販活動PRパンフレット作成

パンフレット内容、ページ数について討議。ページ数は外部に印刷を頼む事を考慮し特殊用紙サイズ使用とならぬよう8ページ(A3用紙2枚分)とした。

(4)JIMTOF座談会開催

今回は調査広報委員が参加の座談会とし、必要あれば機械に詳しい営業員の参加も可能とし開催することになった。

場所はビッグサイト、日時は11月3日(月) 16:00~18:00開催とすることにした。

次回開催予定：

7月18日(金)16:00~17:00

機械工具会館5階

会員・業界消息

経済産業省 ... 経済産業省製造産業局産業機械課 課長補佐 石井伸治(5月19日)

関連団体 (社)日本ロボット工業会 会長 利島康司(5月16日)

... (社)日本工作機器工業会 会長 寺町彰博(5月20日)

... 日本精密測定機器工業会 会長 前田哲也(5月21日)

入 会 賛助会員メーカー (株)太陽工機

〒940-2045新潟県長岡市西陵町221-35

TEL.0258-42-8808 FAX.0258-42-8810

代表者 取締役社長 渡辺 登

窓口担当者 取締役管理部部長 幸田敏夫

社名変更 賛助会員リース

GEキャピタルリーシング(株)はGEフィナンシャルサービス(株)となる。(6月1日)

行事予定

第2回SE基礎講座	6月12～14日(木金土)	日本工業大学
中部地区正・副会員懇談会	6月16日(月)	(株)井高 会議室
西部地区正・副会員懇談会	6月25日(水)	りき六
調査広報委員会	7月18日(金)	機械工具会館
展示会		
2008自動車部品生産システム展	6月18日(水)～21日(土)	東京ビッグサイト
IMTS2008	9月8日(月)～13日(土)	シカゴ
JIMTOF2008第24回日本国際工作機械見本市 ...	10月30日(木)～11月4日(火)	東京ビッグサイト

編集後記

6月号をお届けします。このところ私達の地球はミャンマーでのサイクロン、中国四川省での大地震そして北米での竜巻の多発といったようにいずれもこれまでにない大型になった自然の猛威にさらされていますが、地球を取り巻く環境が大きく変化してきていることを私達に認識させる警鐘と思われる。地球にやさしくすることは何をすべきか、そしていつか襲ってくるかもしれない自然の猛威に対する備えはどうしたらよいかを真剣に考える時が来ています。

今月号の巻頭言は宮脇機械プラント(株)宮脇社長からご寄稿頂きました。「理想の灯」が何代も受け継がれて行くためにも、日工販の活動を通じて工作機械業界が益々発展し、多くの人材が集まってくる魅力のある業界にしていきたいと思います。

毎月ご報告している工作機械・FA流通動態調査1では、これまで統計1に関しては36社、統計2に関しては35社の集計でしたが、集計にご協力頂く会員が増えましたので平成10年4月よりのスタートでしたが10年経た平成20年度4月集計より見直し、統計1は40社としてより精度を上げました。尚統計2については集計内容を整理し30社としました。

日工会発表の4月受注確報によれば、史上2番目の最高額であった3月受注の反動もあり1,282億円という結果となりましたが、4月単月としては史上最高額となり連続1,000億円超えは48か月と最長記録更新中で全体では好調と言えます。しかしこの好調の要因は3か月連続同月比プラスと拡大基調の外需によるもので、内需については外需とは反対に3か月連続前年同月比マイナスとなり最近私達が現場で感じている景況感と同様な傾向となっています。

「日工販ニュース」 Vol.20 - No.6

平成20年6月15日発行

発行	日本工作機械販売協会 〒108-0014 東京都港区芝 5-14-15 機械工具会館3階 電話 03-3454-7951 FAX 03-3452-7879
発行責任者	専務理事 宇佐美 浩
編集	日工販調査広報委員会 委員長 田尻 哲男

日本工作機械販売協会 会員会社一覧 (50音順)

平成20年6月1日現在

正会員(全72社)

[東部地区(36社)]

(株) 旭 商 工 社
 伊藤忠メカトロニクス(株)
 今井機械工業(株)
 大石機械(株)
 (株) カ ナ デ ン
 (株)カネコ・コーポレーション
 (株) 兼 松 K G K
 (株) 京 二
 (株) 共 和 工 機
 (株) 群 馬 工 機
 (株) 国 興
 (株) 三 機 商 会
 三 洋 マ シ ン (株)
 サ ン ワ 産 業 (株)
 シ マ モ ト 技 研 (株)
 住友商事マシネックス(株)
 (株) セイロジャパン
 誠和エンジニアリング(株)
 太 平 興 業 (株)
 (株) 高 橋 機 械
 帝通エンヂニヤリング(株)
 (株) テ ヅ カ
 (株) T E M C O
 トッキ・インダストリーズ(株)
 独 協 機 械 (株)
 (株) ト ミ タ
 (株) N a I T O
 (株) ナ 子 常 盤
 日 鋼 商 事 (株)
 藤 田 総 合 機 器 (株)
 松 茂 工 販 (株)
 三井物産マシントック(株)
 三菱商事テクノス(株)
 (株) ヤ マ モ リ
 ユ ア サ 商 事 (株)
 米 沢 工 機 械 (株)

[中部地区(20社)]

石 原 商 事 (株)
 (株) 井 高
 岡 谷 機 販 (株)
 カ ト 一 機 械 (株)
 釜 屋 (株)
 岐 阜 機 械 商 事 (株)
 甲 信 商 事 (株)
 三 栄 商 事 (株)
 三 機 商 事 (株)
 サ ン コ 一 商 事 (株)
 三 立 興 産 (株)
 下 野 機 械 (株)

(株) 大 成
 (株) 大 誠
 (株) 東 陽
 (株) 日 本 精 機 商 会
 浜 松 貿 易 (株)
 (株) 不 二
 山 下 機 械 (株)
 ワ シ ノ 商 事 (株)

[西部地区(16社)]

赤 澤 機 械 (株)
 伊 吹 産 業 (株)
 植 田 機 械 (株)
 (株) お じ ま
 関 西 機 械 (株)
 京 華 産 業 (株)
 五 誠 機 械 産 業 (株)
 桜 井 機 械 (株)
 (株) ジ ー ネ ッ ト
 大 幸 産 業 (株)
 (株) 立 花 エ レ テ ッ ク
 西 川 産 業 (株)
 日 本 産 商 (株)
 マ ル カ キ カ イ (株)
 宮 脇 機 械 プ ラ ン ト (株)
 (株) 山 善

賛助会員(全74社)

[製造業(56社)]

(株) ア マ ダ ワ シ ノ
 (株) エ グ ロ
 S M C (株)
 エヌティーツール(株)
 (株)MSTコーポレーション
 エ ン シ ュ ウ (株)
 オ ー エ ス ジ ー (株)
 オ ー ク マ (株)
 大 阪 機 工 (株)
 (株)岡本工作機械製作所
 (株)神崎高級工機製作所
 (株)北川鉄工所
 キ タ ム ラ 機 械 (株)
 キ ャ ム タ ス (株)
 京 セ ラ (株)
 (株)グラフィックプロダクツ
 黒 田 精 工 (株)
 (株)ジエイテクト
 (株)シギヤ精機製作所
 新 日 本 工 機 (株)
 住友電工ハードメタル(株)
 (株)ソディック
 大 昭 和 精 機 (株)

(株) 太 陽 工 機
 高 松 機 械 工 業 (株)
 (株) 滝 澤 鉄 工 所
 (株) ツ ガ ミ
 津 田 駒 工 業 (株)
 (株) 東 京 精 密
 東 芝 機 械 マ シ ナ リ ー (株)
 東 洋 精 機 工 業 (株)
 (株)ナガセインテグレックス
 中 村 留 精 密 工 業 (株)
 (株) 日 研 工 作 所
 (株) 日 平 ト ヤ マ
 日 本 デ ィ エ ム ジ ー
 (株) パ ト ラ イ ト
 浜 井 産 業 (株)
 日 立 ツ ー ル (株)
 フ ァ ナ ッ ク (株)
 富 士 機 械 製 造 (株)
 ブ ラ ザ ー 販 売 (株)
 豊 和 工 業 (株)
 牧 野 フ ラ イ ス 精 機 (株)
 (株)牧野フライス製作所
 (株)松浦機械製作所
 三 井 精 機 工 業 (株)
 (株) ミ ツ ト ヨ
 三 菱 重 工 業 (株)
 三 菱 電 機 (株)
 三菱マテリアルツールズ(株)
 (株) ミ ヤ ノ
 メルダシステムエンジニアリング(株)
 (株) 森 精 機 製 作 所
 安 田 工 業 (株)
 ヤ マ ザ キ マ ザ ッ ク (株)

[リース業(18社)]

N T T ファイナンス(株)
 協 同 リ ー ス (株)
 共 友 リ ー ス (株)
 近 畿 総 合 リ ー ス (株)
 興 銀 リ ー ス (株)
 首 都 圏 リ ー ス (株)
 昭 和 リ ー ス (株)
 GEフィナンシャルサービス(株)
 住 信 リ ー ス (株)
 東 京 リ ー ス (株)
 東 銀 リ ー ス (株)
 東 芝 ファイナンス(株)
 日 本 機 械 リ ー ス 販 売 (株)
 日 立 キ ャ ピ タ ル (株)
 三 井 住 友 ファイナンス&リース(株)
 三 井 リ ー ス 事 業 (株)
 三 菱 電 機 クレジット(株)
 三 菱 U F J リ ー ス (株)